

新宿小学校の分教室開設に伴う説明会 質疑応答要旨

平成25年12月14日（土）開催

Q：質問・意見、A：回答

【教職員配置について】

- Q 分教室に配置される教職員は、教員、事務職員など何人ずつか。
- A 教頭は、2人で分教室も含めて対応する。教員は、学級数プラス増置何人という定数の決まりがあるので、小学校全体の数は学級数によるが、分教室の設置に伴い特別に1人配置してもらうよう県に要請している。また、市費で週29時間勤務の非常勤講師を1人配置することについても検討中。養護教諭は、小学校として2人配置しているが、これに加えて市費の非常勤の配置を検討中。事務職員は、小学校として2人配置しているが、基本的には分教室には置かず、連絡は専用電話で対応する予定。
- Q 教員として特別に県と市から1人ずつ配置する予定とのことだが、その教員は何をするのか。
- A 具体的に何をするかについては、学校と十分協議をして配置したいが、基本は小学校免許を持っている教諭を考えている。

【本校・分教室間の移動について】

- Q 分校から本校への移動時の引率者は何人か。
- A 各学級の先頭に1人ずつ、最後尾に1人。来年の6年生は4学級なので、5人の教員が付いて移動する。また、移動前に音楽の授業があった場合など、専科教員が分教室にいる場合は、その教員も一緒に移動する。また、移動ルート上の信号2か所には、本校の教職員が立って安全確保をする。
- Q 6年生が本校に直接登校したり、本校からそのまま下校したりするのは、何回くらいか。
- A 本校に戻っての活動がある日は、本校からそのまま帰宅する。運動会の練習は、朝本校に登校してから分教室に移動することもある。本校に登校してから業間休みに分教室に移動して分教室から帰宅するパターンと、分教室に登校してから給食後に本校に移動して本校から帰宅するパターンがある。これは、給食センターの配膳時間が決まっているので、それに合わせる必要があるため。こういった日が何回あるか、回数については、2月の説明会でお知らせする。
- Q クラブ活動後は本校から直接下校するのか。
- A クラブ活動は、今年度同様、年5回行う予定。縦割り活動と抱合せで実施する計画で、水曜日の午後、5時間目は縦割り活動、6時間目はクラブ活動、その後直接下校という流れになる。縦割り活動は全学年参加であり、1年生は5時間目までであることから、縦割り活動を5時間目に行う。

【最上級生としての自覚について】

- Q 6年生は小学校では最上級生だが、中学校の校舎に入ると一番下になる。そのことで、最上級生として他の学年を引っ張るという自覚が無くなるのではないか。
- A 本校に戻っての活動の中に、全学年を対象にした縦割り活動と、4～6年生を対象にしたクラブ活動がある。これらの活動を、6年生としての活躍の場と考えている。他にも増やすことができるかについても検討して行きたい。

【本校での活動について】

- Q 説明資料には、本校の行事にPTAバザーの記載が無い。PTAバザーの日には、午前子どもたちのふれあいフェスタがあるが、6年生はどのような形で参加するのか。
- A バザーの日は6年生も本校に戻るが、現在、来年のふれあいフェスタの開催について検討している。これは6年生が分教室に行くからということではなく、これまでの経緯から、変えることを検討している。
- Q 本校に戻ったとき、6年生の居場所はどこになるのか。
- A まず体育館であり、体育館には6年生用の下駄箱を設置する。また、その時に空いている（1～5年生が授業で使わない）特別教室や空き教室などを考えている。

【新宿中学校区としての一体感づくりについて】

- Q 説明資料の基本的な考え方に「新宿中学校区としての一体感」づくりを目指すとあるが、新宿中には新宿小の他に弁天小と登戸小からも来ている。中学校区としての一体感づくりについて、広い範囲でどのように考えているか。
- A 中学校の行事へは、合唱コンクールに弁天小と新宿小の2校、体験入学に登戸小も合わせて3校が参加する。こういった行事を利用して、中学校区としての一体感づくりを促す。今後も、育成委員や青少年相談員の皆さんと相談しながら、更に進めたい。
- Q 弁天小から新宿中へ行く生徒が少なくなった。他の中学校に行った子や保護者の話を聞くと、教育委員会から「他の中学校に行ってもいいですよ」と勧められたと受け取る人が多い。「生徒数が多くなったけど、安心して来てください」と言われれば、迷わなかったという声もある。新宿中に一度入学してから他の中学校に移る子もいる。新宿中に小学校6年生が来るときに一緒に生活が不安だという理由で受験したという声も聞いた。子どもたちが最高の生活が出来るよう、先生方・保護者を含め努めないといけないと思う。「新宿中に行きたくない」と、他の中学校に行くのは淋しい。環境を整えて、今後の学校運営を活発にしてもらいたい。

【中学校との連携・交流について】

- Q 説明資料には、委員会活動のうち、給食、保健、図書及び美化委員会は中学校と一緒に実施するとある。これは、委員会が幾つある内の4つなのか。
- A 中学校の委員会数は、現在の小学校の委員会数よりも少ないと思うが、これらのうち、時間と場所を共有する4つと一緒に実施することになっている。放送委員会等も一緒にできる

かもしれないので増える可能性もあるが、まずは4つから始める。

- Q 中学校の立場から質問したい。説明資料には、中学校との交流として、10月の合唱コンクールに小学校が参加するとある。この行事では、会場となる市民会館の使用料を中学校のPTA会費から6万円支出している。これまでは小学生を招待する形だったが、小学校の活動となると、PTA会費で小学校活動を負担するということになる。また、小学生の参加が、これまでのような学年での合唱ではなくクラス毎ということになると、時間が長くなるので負担が大きくなる。考慮いただければと思う。
- A 小学生の合唱コンクールへの参加は、従来通りゲスト出演の形で、学年全体で参加することを考えている。お金については、中学校と相談して、十分に考えていきたい。

【通学路の安全について】

- Q 子どもたちは地域の宝と考えている。子どもたちの安全を守るために、地域として、登校時のポートアリーナ前のルート等は、セーフティウォッチャーの体制を作って協力したい。分教室への通学には、国道357を渡るなど、未知の部分がある。通学路の安全について向後議員に質問してもらったところ、教育次長から交通指導員という考えもあると回答があった。地域として、ぜひ協力をお願いしたい。
- A 私自身、千葉駅から職場のあるポートサイドタワーまで新宿小を経由して歩く中、セーフティウォッチャーの方が雨の日や風の日も協力していただいている姿を見て、感謝している。ボランティアとして活動していただいております。今後ともご協力をお願いしたい。安全指導員は、これまで他地区の統合による通学路の変更でも1年間配置してきたが、今回も委嘱をお願いする準備を進めている。具体的に決まったら、お知らせしていきたい。

【行事の振替休日について】

- Q 運動会など、土曜日に行事があると月曜日が振替休日になる。中学校が月曜日に振替休日になるときは、中学校の校舎には6年生だけが来る、又はその逆になる、ということになるか。
- A その通りである。中学校が月曜代休又は小学校が月曜代休というケースが出る。そういった日がいつになるかということは、年明けに小・中の行事の日を確認していくので、2月にはお知らせできる。

【内覧会について】

- Q 分教室はどのような感じか、授業参観以外で、公開で見学できる機会があると有難い。始まる前でも後でも構わない。
- A 内覧会を兼ねて、2月に予定している説明会を中学校で開催して、6年生が入る教室を見ていただくことを計画している。備品等が入る前なので、4月と全く同じ状態ではないが、どのような様子かを直接確認していただける。

【4月以降の協議の場について】

Q 提案をしたい。2月に説明会があるとのことだが、これまでも説明会では質問に対しては予想・仮定の上での回答となっている。4月以降に実際問題として出てきたことを解決する場として、小・中学校のPTA運営委員会での説明や質疑などが年に数回開催されると有難い。

A 貴重なご意見として承りたい。

【地域の一体化について】

Q 今回の話については、自分自身は当初から関わっていた。神明町・出洲港は古い町であり、その子どもたちが寒川小に行くのは辛いということから始まった分教室である。現実として、子どもたちの増加は受け入れなければならない中で、地域としてやっていこうと決まったこと。小・中学校の子どもたちはある意味で犠牲者かもしれないが、地域全体として我慢・協力する部分がある。この分教室は、10年以上は続くと思われるが、保護者・学校・地域が一体となって活動していかなければならないことを認識して、協力していかなければならない問題である。協力をもって解決できるように、気持ちを一つにしていきたいとお願いしたい。

【一貫教育について】

Q 今回の分教室には、PTAとして協力したい。遠い将来の展望として、分教室にはメリット・デメリットがあるが、メリットが多いと考えて、小学校から高校までの一貫教育は考えているか。

A 中高一貫は、市立稲毛高校で進めているが、他で進めている段階には無い。小中一貫については、子どもたちにとってプラスだという検証がなされれば、進めることになる。現状では、併設型の一貫校は財政負担の面からも難しいので、まずは既存の枠組における小・中連携から進めていきたい。

Q 小中一貫校の話が出たが、分教室の6年生の授業を、連携という面で専科の先生が教える方向に行けば、魅力のある分教室になると思う。